



## 3年生の受験がスタートしました!

### 就職 ~今年度の就職試験への取り組み



9月16日(火)から民間企業の令和8年度就職採用試験が開始され、就職希望者が試験に臨みました。

就職希望者は夏休み前から履歴書作成に取り組み、本校では、今年度からパソコンで作成しました。生徒が一番苦勞した部分は志望の動機です。今年度から履歴書の様式が変わり、「志望の動機・アピールポイント等」、という欄になりました。その職種を志望するきっかけ、職場見学での印象、高校生活で頑張ったこと、入社後の目標などをまとめ、企業に向けての自己PRとしました。昨年までは手書きで作成していたので、間違いがあった場合はすべて書き直さなければならず何枚も書き直しをした生徒もいましたが、今年度は修正が簡単にできたので、生徒の負担も随分軽減されました。

履歴書完成後はそれぞれの受験先の試験内容に応じた準備を行ってきました。企業によって試験内容は様々ですが、すべての企業が必ず面接試験を行っています。面接試験以外では、一般常識や適性検査の1つであるSPI検査など能力を問う内容を課す企業が多く、その他作文を課す企業もありました。

就職希望者は夏休みから本格的に試験に向けて準備を重ねてきました。面接練習では質問に対してスムーズに答えられるように話す練習を何回も行き、一般常識やSPIの問題集を何度も繰り返して解くなど、1人1人が努力を重ねた結果、多くの生徒が就職内定をいただくことができました。

ハローワークのアンケート調査によると、企業が高校生の採用に関して重視するポイントはコミュニケーション能力と協調性、そして積極性やチャレンジ精神と続きます。また、採用選考で不採用とするポイントは、意欲が感じられない、挨拶ができない、欠席が多いなどだそうです。就職・進学に関わらず、求められるポイントは変わりません。特に1・2年生はこれからの高校生活の様々な場面において、それらの能力を磨き、人間力を高めていってほしいと思います。

#### < SPI問題例 >

・次の2語の関係を考え、同じ関係を表す語を答えなさい。

スポーツ:テニス      野菜:(A 植物 B 肉 C レタス D 料理)      正解:C

・P、Q、R、Sの4人の高校生が数学のテストを受けたところ、PとQの得点を加えるとRの得点になり、Qの得点はSの得点より高かった。このとき、次の推論ア、イのうち、必ず正しいと言えるものはどれか。A~Dから1つ選びなさい。

ア.Rの得点はSの得点より高かった。      イ.Pの得点はQの得点より高かった。

A アだけ    B イだけ    C アとイの両方    D アとイのいずれも必ず正しいとは言えない

正解:A

## < 今年度採用試験の面接の質問例 >

- ・高校生活で一番頑張ったことは何ですか？
- ・チームワークで大切なことは何だと思えますか？
- ・今までで最も苦勞したことと、それをどうやって乗り越えましたか？
- ・10年後はどのような自分になっていきたいですか？

## 公務員 ～今年度の傾向

9月の週末ごとに、新潟県庁・各市役所・新潟県警・消防・国家事務・国家税務等の公務員試験が実施されており、公務員希望者の挑戦も始まっています。

公務員試験は、一次試験で筆記、二次試験で面接の試験があり、一次試験に合格しなければ二次試験に進むことができません。そのため筆記試験の勉強に早期から取り組む必要があります。公務員は地域の人々と直接関わることでできるやりがいのある仕事です。公務員採用においても民間採用と同様に、人手不足で受験倍率も低下しており、今までより合格の可能性は高まっています。興味のある生徒は積極的に公務員試験に挑戦してください。公務員模試の案内も行っているの、まずは模試から受験してみてください。

## 進学 ～今年度の状況



### ■ 専門学校のAO入試・大学短大の総合型入試

専門学校のAO入試は6月からエントリーが始まり、9月の出願を経て合否結果が届いています。大学・短大の総合型選抜入試の出願もスタートし、中にはすでに合格通知が来ている学校もあります。受験生の適性や、やる気を重視する入試のため、志望する学校、学部、学科の特色を理解し、なぜその学校なのか、そこで何を学びたいのかを志望理由としてしっかり伝えられることが大切です。

### ■ 専門学校の推薦入試

指定校推薦で約20名が受験します。出願に向けて志望理由書、実績報告書など志望校に求められる書類を準備し、小論文や面接の練習を重ねています。専門学校は職業に直結する学びの場なので、卒業後の職業観が重要です。将来自分がどんな仕事をしたいのか、そのために必要な力は何か将来の自分像を描くことが大事です。

### ■ 大学・短大の推薦入試

大学入学共通テストの出願も完了し、学校推薦型選抜の出願は11月から開始と、いよいよ大学進学希望者の受験も本格化してきました。今年は国公立、私立を合わせ、公募推薦、指定校推薦で約30名が受験します。出願のための志望理由書をまとめるために先生方と相談して文章を練っているところです。また、11月中旬からの入試に向けて、小論文や面接の練習にも励んでいます。

さて、上級学校を受験する際に必要となるもの、やっておくべきことは何でしょうか。

○学校により多少異なりますが、学校推薦選抜ではつぎのような書類を作成し、提出しなければなりません。

- ・志望理由書……… その学校を志望する理由、そこで学んで将来は何をしたいのかを示す。(生徒が作成)
- ・活動実績報告書… 推薦の基準を満たしていることを裏付ける高校での活動を示す。(生徒が作成)
- ・推薦書……… 推薦の基準を満たし、今後の活躍が期待できる人物であることを示す。(先生が作成)
- ・調査書……… 成績、出席状況、部活動、検定、資格、委員会など、高校3年間の記録。(先生が作成)
- ・他

このうち、「志望理由書」と「推薦書」について見てみましょう。

## 1. 「志望理由書」にはこれを書こう!

### ①その学校(学部・学科)で何を学びたいか。

※そこで何を学びたいかをはっきり分かりやすく書く

※なぜそれを学びたいのか、なぜそれに興味を抱いたのか、興味を持つきっかけになったエピソードなどを書くと言得力が増す

### ②なぜ、その学校(学部・学科)を志望するのか。

※何が学べるのか(カリキュラム、研究内容、開講講座など) → HPや学校案内で調べる!

※どのような学校か(設備、校風、環境など) → オープンキャンパスに参加してみる!

※どのような資格が取得できるか → HPや学校案内で調べる!

### ③その学校(学部・学科)で学んだことを、将来どのように生かしたいか。

※はっきりした職業が決まっていなくても、将来の方向性は書いておこう

※「将来こういう方向に進むために、私はこの学校で意欲的に学びたい!」という姿勢を示す

※今「社会」で起こっている問題に対して、志望する学校や専門分野からどのようなアプローチができるか考えてアピールできると、読み手に強く印象に残る

②を軽く考える生徒が多いですが、「なぜその学校でなければダメなのか」は志望理由の中でも最重要項目です。必ず、資料やHPをよく調べて特色をとらえ、自分が学びたいことと結びつけて書こう!!!  
受験するなら事前にオープンキャンパスに参加したり、見学をして実際のイメージをつかんでおこう。

## ○志望理由書を書くときの注意点 はっきりと具体的に書こう!!

以下のような書き方は×です!

①HPや学校案内から長々と引用する。

②「オープンキャンパスで親切に対応してくれたから」

→そこで得た情報やどこが魅力的だったかを書く!

③「親に勧められたから」「家から近いから」

→本音ではあってもダメ!

④「雰囲気が良いから」

→あいまいなことは書かない!

⑤「学びたいことや将来の目標は入学してから見つけたい」

→明確な目標がないと思われる!

## 2. 「推薦書」について

以下は、ある大学が「推薦書」に記載すべきこととして高校側に示している内容です。専門学校を受験する場合でも、内容はだいたい同じです。

推薦理由について

具体的に、以下のような観点を参考に記入してください。

- ・勉学に対する態度
- ・人物・適性・生活態度
- ・ホームルーム活動及び課外の文化活動・体育活動・ボランティア活動について、本人の活動状況（集団の名称、参加態度、出席状況、役割・役職など）、活動の意欲と集団への寄与の程度など
- ・当該学部で学習しようと思っている分野に対する本人の興味・関心・意欲・適性など
- ・学校での学業に直接関係していないが選考の参考となる事項

上記をふまえてこれまでの自分の学校生活全般を振り返ってみてください。本校の生徒が上級学校進学をする場合、ほとんどが学校推薦を利用して受験します。普段からしっかり学校の諸活動に取り組み、高校卒業後に何をしたいのか考えましょう。そうすれば、進路選択の幅が広がりより自分に適した目標が見つかると思います。上級学校が求めている人物像は各アドミッションポリシーに従って、自ら考え、行動し、目標を達成できる人物です。

※アドミッションポリシーとは

それぞれの大学、短大、専門学校ごとに、その学校が受験生に求める能力や適性等についての考え方、「求める学生像」で学部、学科、コースごとに示されています。

進路について詳しく知りたい場合や質問がある場合は、

- ① 進路指導室へ来て先生にたずねる
- ② 生徒一人ひとりに配付してある「進路の手引」を読む
- ③ 進路資料室で「受験報告書」などを調べる

などができますので、いつでも相談してください。